

競技注意事項

- 1 各学校引率教員は、競技の招集開始時刻までに受付を済ませておくこと。教員の受付がない場合、競技者は競技に出場できない。
- 2 本大会は、2018年度日本陸上競技連盟競技規則および本大会競技注意事項に基づいて行う。
- 3 スタートについて
 - (1) 不正出発1回目以降の競技者をすべて失格とする。
- 4 招集について
 - (1) トラック競技は、競技開始40分前より招集を開始し、20分前に完了する。
 - (2) フィールド競技は、競技開始50分前より招集を開始し、30分前に完了する。
 - (3) 棒高跳については、競技開始90分前より招集を開始し、60分前に完了する。
 - (4) 招集完了時間に遅れた者は棄権とみなす。招集所は100mスタート地点の付近に設ける。
 - (5) 競技を棄権する場合は、招集完了時刻までに招集所に申し出ること。
- 5 リレー競技について
 - (1) オーダー用紙は、招集完了時間の1時間前までに招集所へ提出すること。
 - (2) 男女4×100mR予選のオーダー用紙は、8時30分までに招集所へ提出すること。
- 6 ナンバーカードについて
 - (1) ユニフォームの胸、背に確実に付ける。跳躍競技については胸または背に付けるだけでもよい。
 - (2) トラック競技は、招集時にレーンナンバーによる「腰ナンバーカード」を貸与する。ランニングパンツの右横やや後方に、明確に数字が読めるように付ける。
 - (3) 腰ナンバーカードは、フィニッシュ後直ちに係員に返却する。
- 7 トラック競技の走路順およびフィールド競技の試技順は、プログラム記載の番号とする。
- 8 使用器具は、原則として競技場備え付けのものを使用する。ただし、やり投の「やり」及びハンマー投げの「ハンマー」については検査を受けて使用することができる。
- 9 競技の番組編成について
 - (1) トラック競技の準決勝・決勝進出者は、掲示およびアナウンスで発表する。
 - (2) トラック競技のプラスアルファによる進出者は、記録のよい者から選出し決定する。
 - (3) タイムによる次ラウンド進出者の決定において、同記録が出た場合は1000分の1秒まで考慮して決定する。それでも決定できない場合は、抽選を行い決定する。
- 10 学校対抗における各種目の得点は、1位6点、2位5点・・・・・・6位1点とする。
- 11 各種目ともシードを除く上位6名（6チーム）は県大会に出場できる。出場辞退者が出た場合は、順次繰り上げて6名を決定する。なお、県大会出場を辞退する場合は大会期間中できるだけ早く顧問の先生が本部または県大会申込係へ申し出ること。
- 12 県大会の出場資格を得た学校の顧問の先生は、大会終了までに申込一覧表と参加料（1名700円）を本部へ提出し、県大会の申込手続きを済ませること（シード選手についても同様とする）。

13 表彰について

- (1) 学校対抗男女別1～3位までに賞状と楯を、6位までに賞状を授与する。
- (2) トラックの部とフィールドの部は、男女とも3位までに賞状を授与する。
- (3) 各種目6位までに賞状を授与する。(県大会出場資格者もできる限り賞状を授与する予定)

14 その他

- (1) 400mまでのレーンを使用する競技では、フィニッシュした後も他の競技者の安全確保のために、自分に割り当てられたレーン(曲走路)で減速し止まる。
- (2) 800m競走においてレーンを使用して9名以上で実施する場合、原則として1～6レーンは1名ずつ入り、2名入れる場合は外側のレーンから2名ずつとする(外側のレーンは曲走路が緩く安全なため)。欠場者が出た場合は、内側から腰ナンバーの若い順につめる。招集が完了して出場者が確定してからスタートするレーンを決定する。
- (3) 男女400mと男子800mは、予選のタイムにより男女400mは上位8名、男子800mは上位10名を選出して決勝を行う。
- (4) 800m以上の種目において、プラスアルファの最終枠に同記録(着差なし)の選手が複数いる場合、該当者は次のラウンドに進める。
- (5) 3000m競走、5000m競走ではグループスタートを実施する。招集が完了して出場者が確定してからグループを分ける。
- (6) 競技運営上、5000mについては20分、3000mについては15分、5000m競歩については男子35分、女子40分で競技を打ち切る。
- (7) 三段跳の踏切板の位置は、男子11m、女子9mとする。
- (8) 県大会について

ア. 決勝の結果、シード選手を除いた県大会出場者が6名に満たない場合、予選又は準決勝を実施しているときは、決勝進出者を除いた直前ラウンドの記録が良い順に繰り上げて6名を決定する。

イ. 参加標準記録のある種目は、本大会で到達していない場合、県大会に出場できない。

男子5000m競歩.....28分以内	男子ハンマー投.....33m以上
女子5000m競歩.....33分以内	女子ハンマー投.....23m以上

ウ. 男女ハンマー投の6位入賞者で、参加標準記録に到達できなかった者は「県大会の予選」としてプラス3投の試技を行い、参加標準記録に到達した者のみ県大会へ出場できる。

エ. 男女棒高跳は、県大会での競技開始の高さを次のとおりとする。

男子棒高跳.....3m60	女子棒高跳.....2m20
----------------	----------------

- (9) 全天候型の競技場に伴い、トラック・フィールド共にスパイクのピンの長さは9mm以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投については12mm以下のものを使用すること。
- (10) リレー競技におけるマークは競技場のものを使用し、各チームで準備したマークは使用禁止とする。使用したマークは、バトンを渡し終わった選手が競技役員に返却する。
- (11) 競技場の開門時間は7時40分(予定)とする。開門前には絶対に競技場に入らないこと。2日目については、準備ができれば早めに開門する。
- (12) 各団体の待機場所は原則メインスタンドおよび芝スタンドの割り当てられた場所(芝スタンドの割り当てられていない場所は別)のみとし、メインスタンドでのテントの設営は原則禁止とする。

- (13) 競技中は正面本部前の通行を禁止する。また、競技終了後はすみやかに競技場（スタンドにあがる等）を出ること。
- (14) ウォーミングアップ場については特に設定していないので、選手は競技および競技運営に支障のない場所でウォーミングアップを行うこと。
- (15) 競技場のトラックは、大会準備に支障のない範囲で競技開始30分前まで使用できる。レーンの使用区分は次のとおりとする。
- 1・2レーン：中長距離 3～6レーン：短距離 7・8レーン：ハードル
- ※ゆっくりしたジョギングはトラック外を使用すること。
- ※使用した器具は必ず元の位置へ返却すること。
- (16) 応援について
- ア．競技の進行に支障をきたすような集団での応援は禁止とする。
- イ．メガホン等を使用した集団での応援は禁止とする。
- (17) 競技会における怪我等については、応急処置は主催者で行うが、以後の責任は負わない。
- (18) 貴重品・衣服等の管理は各学校で責任を持って行う。
- (19) 各学校で出したごみについては責任を持って持ち帰ること。競技場周辺のごみ集積場等に置いていかない。
- (20) 1日目の競技終了後、各学校の荷物を競技場のスタンド等に置いていく際従来通りの置き方でも結構です。ただ、その日の後の団体がスタンド等も使用するそうです。置いていった物がなくなることや壊れるといったことは責任がとれません。ご注意ください。（小学生のクラブチームの練習があるそうで、子どもがスタンドに入るそうです。）
- (21) 競技場の清掃当番校を決め毎日競技終了後清掃を行う。清掃当番は、大会の申込み番号順とする。
- （例：1岡崎、2岡崎北、3岡崎東、4岡崎西、5岩津、6岡崎工、7岡崎商…）
- 1日に2校程度ずつ行うものとする。（参加人数の少ない学校に関しては配慮する。）
- 準備に当たっている刈谷、愛教大附、岡崎城西、安城学園は順番から除く。
- 参加人数の少ない学校が該当する場合は、相談の上複数校で実施する場合もある。その場合は、事前に連絡し確認する。
- 今回の清掃当番は1日（土）幸田高校・碧南高校。2日（日）碧南工業高校・刈谷北高校です。
- 該当の日の競技終了後、速やかに本部席前に荷物を持って集合してください。（両日とも18時完全撤収になります。それ以降に競技場を使用する団体に迷惑にならないようにしましょう。）